

平成 27 年度 「学校評価アンケート 後期」 について

京都市立洛水中学校

生徒アンケート

数値の計算方法について

「とても重要である」・「とても出来ている」 …… 7
 「やや重要である」・「やや出来ている」 …… 5
 「あまり重要でない」・「あまり出来ていない」 …… 3
 「重要でない」・「出来ていない」 …… 1
 ＊すべての回答を平均した結果を表示しています。

ニーズ度では、表のような結果となりました。
 全校生徒（ニーズ度の高い順になっています）



ニーズ度の計算方法について

重要度 × (8 - 現実度)
 ＊ニーズ度の最高ポイントは「49」

質問項目	▲ 重要度 ▼	▲ 実現度 ▼	▲ ニーズ度 ▼
テスト前には、計画を立てて学習をしている。	6.3	4.1	24.6
学校の宿題以外の学習を家庭でしている。	6	4.1	23.4
わからないところは、先生や友達にたずねている。	6.2	4.3	22.9
規則正しい生活ができています。	6.1	4.4	22
先生に相談できる。	5.6	4.1	21.8
授業の内容がよくわかる。	6.5	4.8	20.8
あいさつを積極的にしている。	5.6	4.4	20.2
授業は集中して受けている。	6.4	4.9	19.8
テスト問題や解答をきちんと保存している。	6	4.7	19.8
授業の進度が、ちょうど良く受けられている。	6.2	4.9	19.2
忘れ物はしていない。	6.6	5.1	19.1
授業がおもしろく受けられている。	5.9	4.8	18.9
学校の宿題は忘れずに提出できている。	6.5	5.1	18.9
出された課題は、一生懸命取り組んでいる。	6.4	5.1	18.6
言葉づかいに気をつけている。	5.8	4.8	18.6
家族の一員としての役割を果たしている。	6	4.9	18.6
学校からの配布物・プリントなどは保護者に渡している。	6.1	5.1	17.7
課題の提出期限を守っている。	6.5	5.3	17.6
周りの人を大切にしている。	6.5	5.3	17.6
学校のきまりや約束事を守っている。	6.2	5.2	17.4
ベル着を守り、けじめをつけて、授業にのぞめている。	6.4	5.3	17.3
学校に行くことが、たのしい。	5.9	5.1	17.1
係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている。	6.2	5.3	16.7
道徳・学活・総合の時間はたのしい。	5.8	5.2	16.2
毎日、朝読書をしている。	5.9	5.5	14.8
教科書・ノートなどは家に持って帰っている。	5.8	5.5	14.5

保護者アンケート

ニーズ度では、表のような結果となりました。

全校保護者（ニーズ度の高い順に）

質問項目	▲	重要度	▼	▲	適合度	▼	▲	ニーズ度	▼
学習について、担任や教科の先生と気軽に相談できる。		6.4			3.9			26.2	
基礎的な学力が身につけてきている。		6.5			4			26	
家庭学習に積極的に取り組んでいる。		6.4			4			25.6	
生徒にとって授業がわかりやすい。		6.6			4.2			25.1	
朝ごはんをはじめ、バランス良く栄養を摂っている。		6.2			4.1			24.2	
各授業の目標が生徒によく伝わっている。		6.2			4.2			23.6	
子どもと学校の話をよくする。		5.8			4			23.2	
さまざまな活動にチャレンジする精神が育ってきている。		6.1			4.5			21.4	
しっかりあいさつができる。		6.6			4.9			20.5	
学校教育目標は生徒や保護者の願いにかなっている。		5.8			4.8			18.6	
授業や行事など、バランス良く教育活動が行われている。		6			5			18	
学校だより・学年だより・学級通信・ホームページなどにより、学校の様		5.9			5.1			17.1	
子どもは学校へ楽しく通っている。		6.6			5.5			16.5	
授業参観や懇談の回数は適切である。		5.7			5.1			16.5	

教職員アンケート

ニーズ度では、表のような結果となりました。（ニーズ度の高い順に並べてあります）

質問項目	▲	重要度	▼	▲	実現度	▼	▲	ニーズ度	▼
基礎的な学力を身につけられている。		6.8			3.8			28.6	
朝ご飯をはじめ、食教育に取り組んでいる。		6.5			3.7			28	
宿題を適切に課するなど、家庭学習の習慣化に取り組んでいる。		6.6			4.6			22.4	
生徒にとってわかりやすい授業ができています。		6.5			4.6			22.1	
生徒が様々な活動にチャレンジする精神を培うことができています。		6.4			4.7			21.1	
人間を尊重する態度を育てている。		6.7			4.9			20.8	
学校教育目標を達成させる取組ができています。		6.7			5			20.1	
授業や行事などバランス良く年間教育計画が組まれている。		6.7			5.1			19.4	
生徒たちが安心して通える学校づくりができています。		6.9			5.2			19.3	
しっかりあいさつのできる学校づくりをしている。		6.6			5.1			19.1	
各時間の目標を明確にした授業ができています。		6.2			5			18.6	
授業参観や懇談の機会は十分に持っている。		6.4			5.5			16	
必要に応じて、学校での様子を家庭に伝えている。		6.4			5.9			13.4	
朝読書の習慣をつけてきている。		6.2			5.9			13	
学校だより・学年だより・学級通信などにより学校の様子を伝えている。		6.3			6			12.6	

アンケート結果より

「生徒アンケート」のニーズ度結果項目をみると、後期は「計画を立てて学習をしている」「宿題以外の学習を家庭でしている」「先生や友達にたずねている。」が上位にあり、子どもたちは、目標を持つが、それに向けて具体的な計画を立てることに戸惑っているのではないかと思います。学校教育目標である「社会をたくましく生き抜く力の育成」につながりますが、

自らの「志」(目標)に向けたライフプランをしっかり持たせることが大切ですが、日々の生活において学校と家庭が連携して「目標の設定」や「時間の管理」のプランニングやスケジューリングが不十分だったと考えます。しかし、「やるべきことを自らが考え、計画を立て、出来るようになる。」行事に向けての取り組みや定期テストに向けての取り組みなど学級指導においても、粘り強く行っております。そして、出来たことによる達成感を得て、また、保護者や教師に評価されたことで、



自尊感情・自己肯定感が築かれ、自らの力で歩んで行ける一つの糧になっているのではないかと思います。

そのためにも、今後「生徒が様々な活動にチャレンジする精神を培う」ことを主眼に置き、特別活動・道徳・総合的な学習を重視し、取り組ませることによって、力が身に付いていくのではないかと考えています。

生徒・保護者アンケートともに、学習面に対して現実度が低く、特に「基礎的な学力を身につけられている。」「学習内容がわかる」ことへの心配をもたれていることがわかります。本年度より、特別支援教育(インクルーシブ教育)の充実に向けての取組をすすめています。各教科での授業においてユニバーサルデザインによるわかりやすい教室環境づくり・授業づくり・安心して学べる仲間づくり・満足感や成就感が味わえる学習活動の設定などの更なる取組を行うことが必要と考えます。「全体的な基礎的な学力の向上を図る」ための学習習慣・生活習慣の確立に向けて、「生きる力」を育み、



「自ら学び・自ら考える力」を探究的な活動を行うことにより、思考力・判断力・表現力の充実を図っていくことが必要だと考えます。そのためにも、教師一人一人が、授業の実践発表会や研修会へ積極的に参加し、授業を工夫するなど自己研鑽に励み、「子どもが自ら主体的に学ぶ」力を身に付けられるように、全力で取り組まなければならないと考えています。





生徒・保護者アンケートともに「わからないところは先生や友達にたずねている」「先生に相談できる」、「学習について、担任や教科の先生と気軽に相談できる」とニーズ度が高い結果を謙虚に受け止め、生徒との対話・生徒同士での学び合い・保護者との対話を意識的に組み込んでいく必要があると思われます。生徒や保護者が、学習面や将来についての話ができるのは教師であり、その教師が教育者としての自覚や使命感を再認識することにより、生徒や保護者との信頼関係を確固たるものとしていきたいと考えています。

アンケートへのご協力ありがとうございました。学校運営に対するみなさまの忌憚のないご意見・評価をうかがうことにより、私たち教職員は自らの指導を振り返り、必要に応じて反省と改善を加え、今後の本校の発展と生徒の学校生活の充実に努めてまいります。生徒の豊かな育ちのために、学校と家庭でスクラムを組んですすめてまいりたいと思います。今後とも本校の教育活動に格別のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

